

# 日本流通新聞 2016年1月18日号

運転者の体調がわかる「スマ・ロケ」

## 腕時計型端末で安全支援

トライプロ

腕時計のように装着するだけで脈拍や睡眠が深いのか浅いかなどを簡単に測定。安全機器関連の製造販売を手がけるトライプロ（本社＝東京・世田谷区、高木宏昌社長）は、ウェアラブル端末から取得したデータを管理者に通知し、運転者の安全運行を支援する「スマ・ロケHealthcare」を12日から販売開始した。

トラックやバス、タクシー運転者を対象に、センサーで測定した脈拍や睡眠の状態を位置情報とともに管理者へリアルタイムで通知する。

運転者の脈拍などから始めに設定した値を越えた場合、管理者に警告メールが送信される仕組み。緊急時の連絡手段を



管理者のスマートフォンにリアルタイムで表示される運行画面と腕時計型端末



決めたおこなうとしておけ コーエフノン製「Puls SENSE PS-100」は、運転者や運行の安全確保を管理拠点から支援できる。価格はオープンプライス。スマートフォン連動も可能だ。

また、日々の睡眠（睡眠型・動態管理システムの睡眠時間・浅い眠り・深い眠り）や運動量、歩数（Healthcare）は別1万9800円。ランニングコストは1台当たりの健康管理にも貢献できり通信費含めて月額税別で10800円となっている。